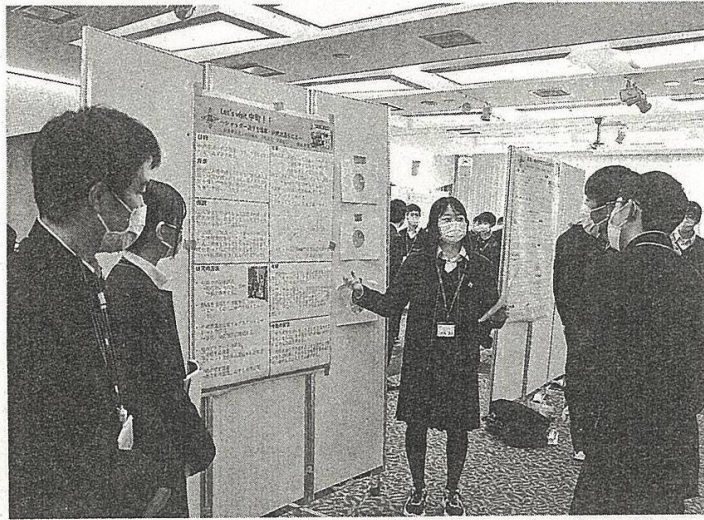


探究学習の成果



ポスター発表で互いに学びを共有する生徒たち

A-1 天気予想生花とドライフラワー 天の川スポット… 酒田東高 合同セミナーで高め合う 鶴岡南高

酒田東高校(大山慎一校長)と鶴岡南高(坂尾聡校長)の理科の2年生による合同セミナー

が22日、鶴岡市のグラウンドエル・サンで開かれ、両校の生徒たちが1年間の探究学習の成果を発表し合った。文部科学省が指定するSH(スーパーサイエンスハイスクール)の一環。学校交流や理数分野への関心を高めることを目的に昨年からはじめた。新型コロナウイルスの影響で茨城県つくば市での研修に代わり、地元企業の研修や普及の研究を発表し合うセミナーを行っている。18日には両校の生徒が海洋、農業、工業、バイオの4グループに分か

れ、地元企業を見学した。この日は酒田東高から48人、鶴岡南高から40人が参加。発表会に先立ち、JAXA宇宙教育センターの野村健太さんがオンラインで「宇宙飛行士になるための力」と題して講演した。その後、両校の計40グループがVAIを使った天気予想生花とドライフラワーの成分の違い▽接地の意識による足の速さの変化▽などの研究成果をポスターで発表し合った。

このうち、鶴岡市街地で天の川を見られるスポットについて研究したグループは、各観測地点の光害を調査。事業所数と空の暗さに相関関係があることが分かった。「事業所から漏れ出る光を抑えたり終業時間を早めることで光害を抑えることができるのでは」とまとめられた。生徒たちはメモを取りながら他校の発表に熱心に耳を傾け、積極的に質問。互いに学びを共有する様子が見られた。

酒田東高の青木淑乃さん(16)は「日常の中で感じたことをテーマにした着眼点ですごくいいと感じました」、鶴岡南高の佐藤壮真さん(17)は「普段の勉強でも参考になる研究があった。自分たちとは違った視点で研究していて、貴重な体験だった」と相手校の研究を評価した。